



▲真剣な表情で読み札を探す参加者

## 「札を囲んだ真剣勝負で市民交流」

(2/3 第27回かるた大会)

2月3日、園部町文化協会主催のかるた大会が園部公民館で行われました。

最初に京都小倉かるた会による実演が行われ、間近で見た参加者らは有段者の反応の速さに驚きの声を上げました。

その後のかるた大会では、約30人の参加者が、心地よい緊張感を持って、競技かるたを楽しみました。

また、休憩時には抹茶とお茶菓子が振る舞われ、和やかな雰囲気の中、日本の伝統文化を通して交流を深めました。

## 「冬の大堰川を走って食べて満喫」

(1/28 南丹市大堰川ジョギング大会)

1月28日、八木町運動公園周辺を会場に、南丹市大堰川ジョギング大会が開催されました。公園周辺を走る5.0kmコースと2.3kmコース、公園内を走る1.5kmコースの3部門が行われ、市内外から約300人の参加があり、小学生から70歳代までの幅広い年代が、寒空の下、爽やかな汗を流しました。また、ゴール地点では、南丹市で採れた野菜などが入った「大堰川なべ」が振る舞われ、走り終えた参加者を暖かく迎えました。

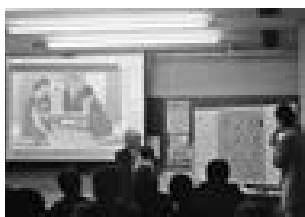


▲スタートで一斉に飛び出す参加者

## 「将棋で紡ぐ」

## 「世代を超えた交流」

(11/26 地域創生・南丹お城将棋フォーラム)



▲対局解説  
▶参加者との対局指導を行う森七段



11月26日、プロ棋士の森信雄七段もりのぶおを招き、「南丹お城将棋フォーラム」が園部公民館で開催されました。

森七段はノンフィクション映画『聖の青春』の主人公で弟子の故・村山聖九段むらやまさとしやその好敵手の羽生善治永世七冠はぶよしはるにまつわるエピソードを通して、人を育てることの大切さを語られました。また、小学生同士の対局の実況解説や小学生から高齢者までの幅広い世代を相手に指導対局が行われ、参加者はプロ棋士の凄さと将棋の魅力改めて堪能しました。

## 「日本の伝統行事で無病息災を祈る」

(1/13 氷室の郷 とんど焼き)

1月13日、南丹市八木農村環境公園「氷室の郷」でとんど焼きが行われました。とんど焼きは、全国的に小正月（1月14～16日）頃に行われることが多く、残り火で焼いた餅や団子を食べれば1年を健康で過ごせるなど、さまざまな伝承がある行事です。

多くの近隣住民らが来場し、新年のあいさつを交わしながら、松飾りなどを持ち寄りました。また、ぜんざいの振る舞いや、地元で採れた新鮮な野菜が並ぶ「新鮮・やぎの朝採市」も開催され、ぜんざいで体を温めたり、買い物をする来場者の姿がありました。



▲会場となった「くじゃく広場」の様子